

「大学とACF」

私が大学に入学してからと最近の証をします。高校三年生の頃、頭の悪かった私は通常の試験では青山学院は到底学力が追いつかないと思っていました。そんな時キリスト者推薦に出会いました。これは神様が私に与えて下さった機会だと思いました。そしてキリスト者推薦の入試対策のために一応小論文などの対策を始めました。牧師夫人と聖書やキリスト教の学び会を始めました。始めはキリスト者推薦のための対策でしかなかったのですが神様と交わる機会が増え、より多く神様との時間を持つことができました。高校生になって一人の時間で神様と交わる時間を疎かにしがちだった私ですが、とても神様を近くに感じることでできた時期です。入試のためという理由でも聖書を読み、イエス様について学ぶことは知識的にもよいことでしたが、なによりいままで一方的に神様に願う祈りが多かった私が神様のことを知る機会でした。神様との対話は自分の願いを一方通行に伝えるのではなく私も神様のことをもっとよく知る必要があるのだと思いました。そして入試のために一人で旅行をしました。一人でホテルに泊まることは初めての経験でしたが不思議と不安や恐れはなく、平安のうちに受験を迎えることが出来ました。受験終了後は不安がなく不思議な平安に満たされました。そして合格通知が届き、本当に神様が備えて下さったのだと思いました。最初はクリスチャンというだけで青山学院大学に入学出来るなんて！という軽い気持ちでしたが、結果として信仰的に大きく成長させられました。

今私は青山学院大学キリスト者推薦の生徒として学生生活を送っています。上京し一人暮らしのなかで信仰生活を守ることは容易ではなく、誘惑も多くあります。ですがACFというキリスト教の部活で役員を務めることにもなり、より神様と交わり、助けを求めながら学生生活と信仰生活を送れています。大学では神様の嫌うようなこともたくさんしましたが神様はいつでも私のことを待っており、道を修正してくれるということを改めて教えてくれました。私には同じキリスト者推薦の仲間やACFでクリスチャンの友人たちが与えられました。私たちは宗教をやっているのではなく、神様は1人1人を特別に思っているということを教えてくれました。これからは青山学院大学におけるキリスト者の一人として、またACFの役員というポジションにおいてどのようにキリストの香りを放つことが出来るかを考え、学生生活を送っていきたいです。